

米国音声言語聴覚学会による難聴セルフチェック

電話での会話が聞こえにくい
 電話で片方の耳が聞きとりやすい
 同時に2人以上が話すと聞きとりにくくなる
 周りの人にテレビの音が大きすぎると言われる
 人の話を理解するのに集中力が必要
 騒がしい場所では聞き取りにくい
 めまい、耳の痛みや耳鳴りがある
 もう一度言ってくださいと聞きなおす
 家族や周りの人から話を聞いていないと言われる
 会話の相手がつぶやいているように感じる
 女性や子供の話すことが分かりにくい
 あなたの理解が悪いので相手がイライラすることがある

<https://www.asha.org/public/hearing/self-test-for-hearing-loss/>
(翻訳して引用)

㉖聴力低下に気づくには

前回、加齢とともに、人に一人、75歳以上
 聴力が低下し、65～74歳（前期高齢者）の3人
 に一人で、日常生活に支障をきたすほどの聴力低下があると紹介しました。ところが、半数の人はそのことに気がついていません。聴力低下はゆっくりと進む

支障をきたすほどの聴力低下があると紹介しました。ところが、半数の人はそのことに気がついていません。聴力低下はゆっくりと進む

づけば、聴力低下によるトラブル、うつ、フレイルや認知症の発症を予防できる可能性があります。

米国音声言語聴覚学会は、聴力のセルフチェックリスト（表）を



【プロフィル】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

ホームページで紹介しています。12の質問項目のうち、2項目以上当てはめれば、聴力検査や耳鼻科の受診を勧めています。皆さん、大丈夫でしょうか。自分でできる方法を紹介しましょう。正確性・客観性には欠けますが、簡便ですので、静かな所で試してみてください。指こすり試験は指が十分に乾いた状態で、親指と人さし指を軽く合わせてください。指タップ試験は、親指と人さし指を軽く合わせてみてください。※次回は23日、「聴力が下

回響らします。いずれの試験も、耳元で聞こえたたら、少しずつ耳元

えたら、少しずつ耳元から遠ざけます。30秒で聞こえれば問題ありませんが、左右の耳で

差がある場合、15秒（親指と人さし指を開いたまゝ）で聞こえなければ

力低下と違って生活上の支障になりにくいです。

家族や周りの人たちが気付いても、大きめの声でゆっくりと話しているのかもしれません。

保健・福祉

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。